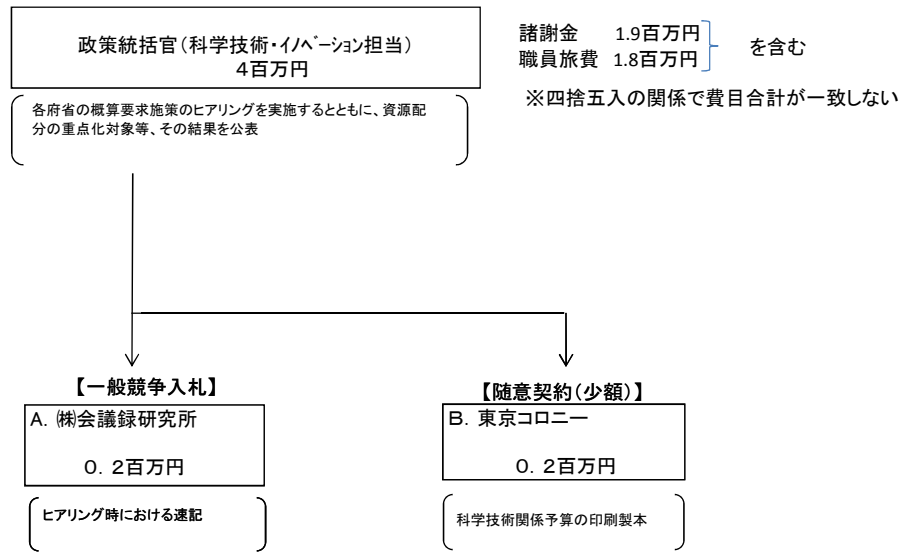


平成26年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	科学技術関係予算の改革		担当部局	政策統括官 (科学技術・イノベーション担当)	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度・終了(予定)なし		担当課室	参事官(資源配分担当) 参事官(イノベーション戦略推進担当)	中津健之 田中 宏			
会計区分	一般会計		政策・施策名	—				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	科学技術基本法(平7法130)、 内閣府設置法(平11法89)第26条		関係する計画、 通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定) 科学技術に関する予算等の資源配分の方針 (平成25年7月31日総合科学技術会議決定) 科学技術イノベーション総合戦略(平成25年6月7日閣議決定) 日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	質の高い科学技術予算の編成に向けて、科学技術政策担当大臣及び総合科学技術・イノベーション会議有識者議員が、各府省の概算要求施策について、科学的観点からの重要性、実現可能性等を判断し、資源配分の重点化対象施策等の判定を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・次年度概算要求施策に対し、資源配分の重点化対象施策等の判定を実施するため、科学技術の専門家を招聘して、各府省の概算要求施策のヒアリングを実施する。 ・当該ヒアリングにおける科学技術の専門家の知見を踏まえ、概算要求施策の改善・見直しの指摘や重点化対象の予算施策の特定を行うことで、質の高い科学技術予算編成に向けた取組を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	—	—	—	—	—	
		前年度から繰越し	—	—	—	—	—	
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—	—	
		予備費等	—	—	—	—	—	
		計	6	6	5	5	5	
	執行額	2	3	4	—	—		
執行率(%)	26%	51%	81%	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)	
	各府省の各年度の概算要求に当たって、科学技術予算の適切な資源配分の重点化対象施策の判定等を行うものであり、その対象となる各府省の具体的施策数は年度ごとに異なること、及び対象施策数や各省調整数を増減させることが目標では無く、各年度の予算の重複排除や方向性の調整等により、各府省の予算の質を相対的に向上させることが目標であるため、一定の数値により成果目標を示すことはできない。なお、定性的な目標は、前述のとおりである。		成果実績	—	—	—	—	
			目標値	—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
	各府省の各年度の概算要求に当たって、科学技術予算の適切な資源配分の重点化対象施策の判定等を行うため、各省の施策のヒアリング等を行うことが主な活動である。その対象となる各府省の具体的施策数は年度ごとに異なること、及び施策数の増減が活動を図る指標ではないため、一定の数値により活動指標を示すことは困難であると考え、ヒアリングを行った施策件数/ヒアリング回数を、効率よくヒアリングを行ったことを示す活動指標とする。		活動指標	—	—	ヒアリングを行った施策件数/ ヒアリング回数 146件/16回	—	
			当初見込み	—	—	—	—	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
	執行額/(ヒアリングを行った施策件数/ヒアリング回数)		単位当たりコスト	円	—	—	457千円/(件数/回数)	—
			計算式	経費/(件数/回数)	—	—	4,168千円/(146/16)	—
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	3	3					
	委員等旅費	1	1					
	庁費	1	1					
	計	5	5					

事業所管部局による点検・改善							
項目		評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・本事業は、各府省の科学技術関係予算に関し、重点化対象等を判定するものであり、メリハリのある資源配分を行う上で非常に重要である。 ・内閣府は、内閣府設置法において科学技術関係予算資源の配分方針に関する企画・立案・総合調整事務を行うことになっており、国が実施すべき事業である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	・契約について入札等により競争性を確保し、コスト削減に努めている。 ・会議やヒアリングの日程を可能な限り集約することで必要な旅費・謝金の節減に努める等、費用の節減に努めている。				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—					
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	・資源配分の重点化対象等の判定については、総合科学技術・イノベーション会議(旧「総合科学技術会議」以下同じ)において、資源配分の方針を決定し、それに基づく判定結果は、総合科学技術・イノベーション会議に報告され、総合科学技術・イノベーション会議から各府省に対し、予算に反映するよう意見具申が行われており、その成果は十分活用されている。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	_____				
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名	
	—	—				—	
点検・改善結果	点検結果	・科学技術イノベーション総合戦略の推進等に必要事業見直しを行うとともに、会議ヒアリング日程の集約等による謝金や旅費の節減など、経費の効率的な執行に努めている。					
	改善の方向性	・引き続き必要に応じ事業見直しを図るとともに、会議やヒアリング日程の集約等による謝金や旅費の節減など、経費の効率的な執行を行う。					
外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	予算の効率的な執行に留意しつつ、引き続き事業予算の執行管理を徹底し、効率的、効果的な事業の実施に努める。						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成23年	0048	平成24年	0056	平成25年	0133		

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)会議録研究所	ヒアリング時における速記	0.2	4	毎年、同様の仕様のため未記入

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(福)東京コロニー	科学技術関係予算の印刷製本	0.2	随意契約【少額】	—